



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日
上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社
 コード番号 4093 URL <http://www.toho-ace.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 泰夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 梅山 雅紀 TEL 022-385-7692
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,665	△10.8	377	△34.3	426	△29.9	239	△31.0
2019年3月期第1四半期	9,715	22.7	573	93.3	608	78.7	347	95.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 228百万円 (△35.1%) 2019年3月期第1四半期 351百万円 (73.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	34.35	—
2019年3月期第1四半期	49.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	30,706	15,912	46.4
2019年3月期	31,637	15,881	44.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 14,240百万円 2019年3月期 14,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	20.00	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	△1.6	650	△7.8	700	△8.5	400	△8.8	57.26
通期	36,000	△1.5	1,650	△0.8	1,750	△2.7	1,000	△9.3	143.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の : 有

会計処理の適用

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)」をご覧ください

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期 1 Q	7,004,000株	2019年3月期	7,004,000株
2020年3月期 1 Q	17,742株	2019年3月期	17,768株
2020年3月期 1 Q	6,986,238株	2019年3月期 1 Q	6,986,211株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦、中国経済の減速懸念等、海外情勢の不確実性により先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の売上高は86億65百万円と前年同四半期に比べ10億50百万円(10.8%)の減収、営業利益は3億77百万円と前年同四半期に比べ1億96百万円(34.3%)の減益、経常利益は4億26百万円と前年同四半期に比べ1億82百万円(29.9%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億39百万円と前年同四半期に比べ1億7百万円(31.0%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ガス関連事業

ガス関連事業の売上高は、45億47百万円と前年同四半期に比べ44百万円(1.0%)増加いたしました。営業利益は3億50百万円と前年同四半期に比べ26百万円(7.0%)の減少となりました。

当部門の状況といたしましては、酸素は電炉・鉄鋼向けの需要が減少したこと等により売上高は減少いたしました。一方で、溶解アセチレンは圧接向けの需要が減少いたしました。販売価格の見直しを行ったことにより増加、また、食品用ガスは既存顧客の需要が増加し、さらに液化石油ガスは需要が堅調に推移したこと等により売上高は増加いたしました。

利益面におきましては、販売費及び一般管理費の増加により営業利益は減少いたしました。

器具器材関連事業

器具器材関連事業の売上高は、26億98百万円と前年同四半期に比べ1億95百万円(7.8%)増加、営業利益は52百万円と前年同四半期に比べ24百万円(89.1%)の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、溶接切断器具及び生活関連器具の需要が増加したことにより売上高は増加し、営業利益も増加いたしました。

自動車機器関連事業

自動車機器関連事業の売上高は、7億1百万円と前年同四半期に比べ8億84百万円(55.8%)減少し、営業利益は17百万円と前年同四半期に比べ94百万円(84.7%)の減少となりました。

当部門の状況といたしましては、自動車部品メーカーの設備投資需要が一巡したことにより売上高は減少し、営業利益も減少いたしました。

その他事業

その他事業の売上高は、7億17百万円と前年同四半期に比べ4億5百万円(36.1%)減少、営業利益は1億45百万円と前年同四半期に比べ1億14百万円(44.0%)の減少となりました。

当部門の状況といたしましては、前年同四半期に製氷・冷凍機械等の完成引渡し時期が集中していたことの影響により売上高は減少し、営業利益も減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、307億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億30百万円減少いたしました。この主な要因は、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類の冬場のエネルギー需要が減少したこと及び自動車機器関連事業の設備投資需要の一巡により、売上債権が減少（7億15百万円）したこと等によるものであります。

負債は、147億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億62百万円減少いたしました。この主な要因は、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類の需要が冬場と比較し減少したこと及び自動車機器関連事業の仕入高減少により、仕入債務が減少（8億50百万円）したこと等によるものであります。

純資産は、159億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円増加いたしました。この主な要因は、配当金の支払いによる減少（1億74百万円）はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上（2億39百万円）したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期累計期間並びに通期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,590,577	7,480,589
受取手形及び売掛金	6,792,817	6,375,583
電子記録債権	3,374,474	3,076,191
商品及び製品	803,543	864,224
仕掛品	374,315	280,380
原材料及び貯蔵品	83,759	97,423
その他	190,118	219,697
貸倒引当金	△21,748	△20,265
流動資産合計	19,187,859	18,373,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,287,793	3,253,343
機械装置及び運搬具(純額)	945,665	923,260
土地	5,543,936	5,546,936
その他(純額)	460,180	396,741
有形固定資産合計	10,237,576	10,120,282
無形固定資産	126,657	146,151
投資その他の資産		
投資有価証券	1,203,312	1,178,936
その他	921,244	926,295
貸倒引当金	△39,154	△38,569
投資その他の資産合計	2,085,403	2,066,662
固定資産合計	12,449,637	12,333,096
資産合計	31,637,496	30,706,921
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,697,834	5,243,935
電子記録債務	1,940,157	1,543,770
短期借入金	3,280,000	3,265,000
1年内返済予定の長期借入金	424,016	417,962
未払法人税等	315,260	175,868
賞与引当金	370,260	188,817
役員賞与引当金	17,725	7,225
その他	1,206,536	1,639,986
流動負債合計	13,251,790	12,482,566
固定負債		
長期借入金	390,652	325,052
役員退職慰労引当金	421,564	277,657
退職給付に係る負債	1,391,975	1,389,682
資産除去債務	5,657	5,683
その他	294,634	313,335
固定負債合計	2,504,483	2,311,410
負債合計	15,756,274	14,793,976

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	981,967	1,004,269
利益剰余金	10,854,455	10,919,538
自己株式	△9,570	△9,560
株主資本合計	14,087,852	14,175,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,187	65,581
その他の包括利益累計額合計	82,187	65,581
非支配株主持分	1,711,182	1,672,115
純資産合計	15,881,222	15,912,944
負債純資産合計	31,637,496	30,706,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	9,715,248	8,665,145
売上原価	6,985,793	6,096,647
売上総利益	2,729,455	2,568,498
販売費及び一般管理費	2,155,688	2,191,285
営業利益	573,766	377,213
営業外収益		
受取利息	62	108
受取配当金	12,053	10,629
受取賃貸料	21,048	20,781
持分法による投資利益	8,779	7,621
その他	16,222	26,982
営業外収益合計	58,165	66,123
営業外費用		
支払利息	9,692	8,723
賃貸費用	8,993	7,350
その他	4,724	771
営業外費用合計	23,409	16,845
経常利益	608,522	426,491
特別利益		
固定資産売却益	3,114	595
特別利益合計	3,114	595
特別損失		
固定資産除売却損	1,267	3,099
特別損失合計	1,267	3,099
税金等調整前四半期純利益	610,370	423,988
法人税等	243,084	174,869
四半期純利益	367,285	249,118
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,603	9,155
親会社株主に帰属する四半期純利益	347,682	239,963

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	367,285	249,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,087	△20,887
持分法適用会社に対する持分相当額	1,678	191
その他の包括利益合計	△15,408	△20,695
四半期包括利益	351,876	228,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,455	223,356
非支配株主に係る四半期包括利益	15,421	5,065

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2019年5月17日開催の取締役会において、2019年6月24日開催の定時株主総会終結時をもって、役員退職慰労金制度を廃止することを決議いたしました。また、同株主総会において役員退職慰労金の打切り支給について承認可決されました。

これにより当社の「役員退職慰労引当金」を取崩し、打切り支給に伴う未払額46百万円については、各役員の退任時に支給することから、「固定負債」の「その他」に含めて計上しております。

なお、一部の連結子会社については引き続き、役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金に関する内規に基づく要支給額を「役員退職慰労引当金」に計上しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車機器 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,502,766	2,503,131	1,586,442	1,122,908	9,715,248	—	9,715,248
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,502,766	2,503,131	1,586,442	1,122,908	9,715,248	—	9,715,248
セグメント利益	376,938	27,960	112,102	259,931	776,932	△203,165	573,766

(注) 1 セグメント利益の調整額△203,165千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車機器 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,547,466	2,698,763	701,486	717,429	8,665,145	—	8,665,145
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,547,466	2,698,763	701,486	717,429	8,665,145	—	8,665,145
セグメント利益	350,687	52,878	17,113	145,445	566,124	△188,910	377,213

(注) 1 セグメント利益の調整額△188,910千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。